



北方学園小学校(6年生・23名)よのなか教室 「延岡メンマとSDGs」

令和4年7月26日(火) 9:20～10:10

北方学園小学校の6年生は、SDGsについての学習を行ってきました。今回は、その学習に関連して、江原太郎さん(ローカルバンブー株式会社取締役)に具体的なお話をお聞きすることができました。



【江原太郎さん】

江原さんは、大学をご卒業後、3年半ほど会社員として勤務されたそうです。その後、ふるさと延岡の放置された竹林を目の当たりにし、放置竹林で困っておられる農家の方々の力になれないかと、放置竹林を活用してメンマ作りを始められたそうです。最初は、試行錯誤や失敗の連続だったそうですが、諦めずに挑戦し続け、今では、ANAの国際線の機内食としても採用されるまでになりました。また、メンマを作る事業が、SDGsのどの目標と合致するのかというお話もあり、子ども達の調べ学習がより深まったものになりました。

最後に、江原さんは、『様々な経験をして、視野をひろげてほしい。失敗してもやり続けてほしい。』という励ましのメッセージを子ども達に伝えられました。

～子どもの感想文から～

- おどろいたのが、竹が生えすぎると、木が大きくなれない、土砂崩れが起きる、じゅんかんがうまくいかないなどの問題が起きてしまうことです。
これからは、延岡メンマをおいしく食べて、森を守ろうと思いました。
- 延岡市でもSDGsの取組をしていたのは知らなかったので、おどろきました。竹をメンマにしたり、あまった竹などを牛にあげたり、竹をむだにしないようにがんばっているところが、とても尊敬します。こんなにがんばっている人がいるので、自分も自分でできることをがんばろうと思いました。



【授業の様子】

北浦中学校(1年生・14名)よのなか教室 「学校に宮日がやってくる」

令和4年9月9日(金) 13:40～15:30

北浦中学校の1年生が、職場訪問での取材前の準備と実際の取材の方法等について、「取材と記事作成」というテーマで現役の新聞記者の方から講話を聞きました。今回の講師は、黒木友貴さん(宮崎日日新聞社 読者局読者室)です。講話は、5時間目に「取材前の準備」、「取材方法」、「写真の撮り方」について、6時間目に「記事の書き方」、「紙面の作り方」、「まとめ」という内容で進められ、生徒たちは、基本的な取材の仕方や記事の書き方などを学ぶことができました。黒木さんは、ご自身の経験や実際の取材の例などをもとに話されましたので、とても分かりやすく、生徒の取材への意欲が高まったようです。『取材の前には下調べをする、質問リストを作る。』『取材をするときは、感謝や敬意を伝える。』、また、『積極的に質問することや五感をフルに使う。』など、取材のポイントをしっかりと示してくださいましたので、生徒の理解も深まりました。



【黒木友貴さん】



【授業の様子】

今回のよのなか教室を受けて、生徒たちがどのように新聞作りに挑戦し、まとめていくかとても楽しみです。

西階中学校(2年生・96名)よのなか教室 「哲学対話」

令和4年7月11日(月) 13:55～15:30

西階中学校で、昨年度に続き、2回目の「哲学対話」を実施しました。対象は2年生(96名)で、12名ずつ8グループに分かれて行いました。他のクラスの生徒とこのような形で対話を行うのは初めてだったので、最初は戸惑いもあったようですが、だんだん慣れてきて、自分なりの意見を伝えることができたようです。自分の意見が受け入れられたり、友達の意見を聞いて共感したりするなど今までにない対話の楽しさに気付いた生徒も多くいたようで、今後もこのような機会を設定できればと感じました。



【哲学対話の様子】

～生徒の感想から～

- ☆ 生活の中でマイナスなことを見つけるのではなく、よいところをたくさん見つけると楽しい生活が送れることが分かった。みんなの前で自分の意見を主張するのは難しいけれど、ちゃんと伝えることが大事だと思った。
- ☆ 自分の意見を相手にうまく伝えるのは難しかったけど、いろんな人の意見を聞いて、とても面白かった。同じテーマでも出てくる意見はたくさんあって、考え方はそれぞれ違うことを改めて学んだ。
- ☆ 自分で考えて意見を言うのは難しいことだなと感じました。特に“部活動の悩み”では、次から次へと問題があって、解決策などをみんなで考えてもあまり意見がでなくて、良い経験になりました。もっと自分の意見を相手に話して、コミュニケーション能力が高められると良いです。

NIE 全国大会 宮崎大会

令和4年8月4日(木)・5日(金)

NIE 全国大会宮崎大会が、2日間にわたって宮崎市で行われました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3年ぶりの対面での開催となり、全国から新聞、教育関係者など、1100人の参加がありました。

1日目は、ノーベル化学賞受賞者の吉野彰さんの記念講演と基調提案、パネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、本大会実行委員長の水永正憲さん(延岡市キャリア教育センター長)が、コーディネーターを務められ、パネリストの方の貴重な実践や、会場の中高生からの熱心な質問に触れることができ、中身の濃い時間となりました。



【水永正憲さん】



【パネルディスカッション】

2日目は、分科会が行われ、各会場で発表と熱心な協議が行われ、参加者もNIE教育の役割について、理解を深めていました。

また、大会後の新聞で、黒木淳一郎宮崎県教育長が、NIE教育とキャリア教育との親和性について述べられており、キャリア教育への期待の高さを感じることができました。

～キャリア教育実践交流会～

11月17日(木) 19:00～
社会教育センター 会議室2

今回は、三川内小中学校の倉尾健二先生に、高校・大学・企業・地域との連携や、地域の良さをどのように発信するかなど、三川内中学校の取組について発表していただきます。

今後のキャリア教育の実践に大変参考になる内容だと思います。

ぜひ、ご参加ください。

延岡市キャリア教育支援センター

〒882-0824 宮崎県延岡市中央通 3-5-1 延岡商工会議所内

電話 0982-33-6666 FAX 0982-33-6682 <http://nobeoka-career.jp/>

水永正憲 ☎ 080-4002-8167 敷石輝幸 ☎ 080-6410-5539 酒井康行 ☎ 090-2587-7837
✉ mizmas228@gmail.com ✉ sate815@ma.wainet.ne.jp ✉ y351akre@ma.wainet.ne.jp